

# 避難所耐震化の状況、耐震化の計画は

## 新たな補助制度を考え、地域を支援する

**質問** 大地震が発生した場合、第一次及び第二次避難所の耐震化されている建物とその収容数は。耐震化されていない避難所を耐震化する計画は。

指定しています。16箇所中、15箇所は耐震化済みで、収容人員は、約3500人です。

避難所の内、耐震診断・補強工事が必要となる各集落の公民館等については、本年度中に耐震診断に関する説明会を開催します。また、補強工事に対する補助制度の制定を考えています。

**答弁** 第一次避難所には、公民館などを指定させていただきます。また、補強工事

については、本年度中に耐震診断に関する説明会を開催します。また、補強工事に対する補助制度の制定を考えています。

39箇所中、22箇所に建築されており、耐震化を確認済みです。収容人員は、約2800人です。

第二次避難所には、小中学校などの公共建物を総合的に勘案し、どのような形がいいのか検討中



名取武一 議員



総合的に勘案し、耐震化が検討されている町民センター

## 人口増の対策はあるか

### いままも少子化対策などを進めている

**質問** 少子化時代ですが、人口の増加策は。

前提との関連で、検討をしていきます。

**答弁** 将来的に、わずかに減少するものと見ています。いま進めている少子化対策や、企業誘致など産業の振興により、子育て世代の若者の定住を望んでいます。

**質問** 土地開発公社への支援は。

**質問** パノラマの支援の結果は。東急とはいつまでか。

**答弁** 18億円の借金があり、自立できていないので、今後も支援をします。土地公の使命は終わつたので、販売力のある民間にまかせるのがよいと考えます。今後の新しい開発は考えていません。

**答弁** 昨年より1.7倍の利益ができました。東急による再構築はよい方向にあります。町はこれからも支援していくつもりです。東急による今後の支援策については、将来、パノラマを民営化するという

○その他の質問事項  
・特定健康診査の問題点  
・有害鳥獣対策状況  
について



織田昭雄 議員